



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1449回例会

R理解推進月間

平成26年1月9日(木)

新春夜間例会

SPEAK OUT NIGHT

於名古屋東急ホテル

会員 62名

出席計算数

55名中47名出席

出席率 85・45%

前々回出席率 93・22%

例夕プログラム

★感謝状披露

・東海交通遺児を励ます会

★誕生日のお祝い

★春日井職業奉仕委員長

・節分例会について

★新春夜間例会

SPEAK OUT NIGHT

「ロータリーソング

「君が代」「四つのアリスト」

指揮者 春日井和良

ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコボックス

新年おめでとうございます。今年

もよろしくお祝い致します。

木村 光徳・吉田 隆彦

佐藤 彰・堀江 英弥

前田 隆久・近藤宏一郎

新年おめでとうございます。本年

も宜しくお祈りします。

渡辺 観永・春日井和良

吉田 明夫・高木 政義

鬼頭 茂成・横井 衛

田崎 雅二・酒井 修
草野 勝彦・岡村 隆徳
穏やかな正月で多くの方に参拝
頂きました。年末アクセル君(苦
労様でした！ 岡部 快圓
心身共に元気で愉快な年でありま
すように。 荻葉 賢一
紀元2674年甲午 謹賀新年。
浅野 彰

新年あけましておめでとうございます。
大原 敏正・青木 靖高
新年おめでとうございます。
岩崎 征一・杉浦 令淑
今年もよろしく。 柴岡 正将
今年も宜しくお祈りします。
林 順治

61才になりました。本年もよろし
くお願いいたします。川畑 博敬
誕生日です。本年も宜しくお祈り
します。 内藤 明
誕生日です。 小澤 幸男
誕生日です。 明けておめでと
うございます。 大上 晃延
妻の誕生日です。 小野 定男
あけましておめでとうございます。
新しい年明るく良い年であります
様に！新春例会でこそお楽しみく
ださいね！ 親睦活動委員会一同

明けておめでとごう御座いま
す。今年は何の關係で殆どの会員
の皆様が9日間という、長いお休

会長挨拶

会長 木村 光徳



乾杯 / パストガバナー 岡部快圓さん

た。久々に希望に満ちた新年を迎
えられた事とお慶び申し上げます。
さて、RCの今年度の活動も折
り返しになりました。皆様方の奉
仕の気持と友情のお蔭で大過なく
運営が出来ました事を衷心から深
く感謝するとともに、30周年記念
例会、全日本RC親睦合唱祭の2
大イベントを含めた下期の事業に
も、絶大な御協力を頂きますよう
お願い致します。
最後に、
今日は家族
忘年会に引
き続き、親
睦活動委員
会の皆様にご
準備頂き
ました。委
員会の皆様
にお礼を申
し上げます。
そして、今
年も会員の



締め挨拶 / パストガバナー補佐 草野勝彦さん



新入会員歓迎会より / 大澤伸悟さん(写真左)、大上晃延さん(写真右)



「東海交通遺児を励ます会」より

感謝状披露

皆様にとって、良い年に成る事を
祈念して挨拶をさせて頂きます。



「堀川 熱つ鼓の会」による和太鼓演奏

赤い羽根募金活動協力

幹事 渡辺 観水

12月8日(日) 熱田区六野のイオンモール熱田にて、赤い羽根街頭募金が実施されました。これは赤い羽根共同募金運動の一環として、広く一般の方に関心を持っていただき、地域福祉活動に参加していただくのが目的です。

このたびは熱田区社会福祉協議会

より、当クラブで受入れている留学生にも参加していただけないかと打診を受け、地区青少年交換・副委員長長の



高木さんに相談したところ、2700地区の留学生全員に奉仕の機会を与えるのがいいのではないかと、進言を頂き、理事会を検討の上、承認を頂き、「熱田区社会福祉協議会主催、名古屋大須RC協力」という形で、地区内3名の留学生アクセルくん

(名古屋大須RC)、マイヤちゃん(宮RC・フィンランド)、サラちゃん(名古屋北RC・アメリカ)が参加することになりました。

また大須エリアで活動している10代から30代のコスプレイヤーの若者達にも声をかけ、当クラブからの有志応援の他、当日は総勢31名の団体となりました。

熱田区社会福祉協議会で、募金の趣旨、地域の社会事業に還元される等、使い道などのレクチャーを受けたあと、手渡しでお金をいただいたとはいけない、などの募金のルールを学びました。声だしの練習をして、いざ出陣。会場となったイオンモール熱田では、赤い羽根共同募金のゆるキャラ「希望くん」をはじめとして、

突然現れた集団に戸惑うご老人や声をあげて喜ぶちびっことなど、大反響でした。1時間の活動中に多くの方にご協力をいただき、熱田区の赤い羽根共同募金としてはもっとも多くの「浄財をいただく」ことができたと思っております。活動終了後は、熱田区社会福祉協議会に戻り、興奮冷めやらぬ中、感謝状の贈呈式が実施されました。参加した若者の中には、緊張があたっていた瞬間だと実感しました。

人のためのみならず、我が身のためにもなる一奉仕するもの最も報われる一言葉通りであると感じた次第です。以上ご報告をさせていただきます。



国際ロータリー・ニュース

2014年1月13日

「ロータリーに輝きを」

ホアン氏が呼びかける

「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」



14-15年度 RIテーマが発表されました

ロータリー設立の約2,400年前を生きた中国の思想家、孔子の言葉を引用したグレイリーC.K.ホアンRI会長エレクトは、孔子を「世界で最初のロータリアン」と述べました。孔子の教えに心を動かされたホアン会長エレクトは、14-15年度のテーマを「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)とすることを発表しました。

「世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、自分ができることはない」と言いつつ、何もせずただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」とホアン氏。世界507地区からサンティエゴ(米国)に集まったカバナー夫妻に向けて、次のように語りました。「ロータリーの考え方は、孔子と同じです。ロウソクを灯すのがロータリーです。私が一本、あなたが一本。こうして、120万人の会員全員がロウソクを灯します。力を合わせれば、世界を光で輝かせることができるのです」(中略)

「ロータリーをどう輝かせるか、ご自分のロウソクをどう灯すかは、皆さん次第です。自分が何を得意とするかは、ご自身がよく存じのほうです。地元地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さん自身のほうがお分かりになるでしょう」(中略)

「ロータリーに輝きを」これが次年度のテーマですが、これにはテーマ以上の意味があります。私たちがロータリーでどう生き、どう考え、感じ、活動するかが、この言葉に込められています。すべてのクラブ、地区、そして活動するすべての国々、日々、人々のために何ができるか。それを表しているのではありません」(記者: Daniela Garcia)

★詳細はこちらをご覧ください。
「国際ロータリー」日本語ホームページ
<http://www.rotary.org/ja/>

1月23日(木)例会の案内

会員卓話

「マダガスカルレポート」

鬼頭 茂成さん

広報委員会

小澤 幸男・青木 靖高
飯田 昭夫・杉浦 令淑

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。